



【校訓】立志 <誰かのために何かができる素敵な人に>

【学校教育目標】 未来をつくり、社会を支えていく
高い志をもった子どもの育成

学校を公開しています!

県教委/市教委が淳城西小を訪問

24日(木)北教育事務所山本出張所長の訪問が行われ、学校経営の現状と子どもたちの授業での様子をもとに、淳西小の課題解決や充実発展のために必要な指導助言をしていただきました。西っ子のよさや先生方の授業についてたくさん褒めていただきましたので、これらを自信にしながら、さらなる改善を図っていきます。ICT活用やコロナ禍の学校様式など、課題についても見通しがもてましたので、成長に繋がる訪問となりました。



【工藤真弘 山本出張所長の主な指導助言】(一部抜粋した内容を載せています)

- 全体：子どもたちや先生方の姿から、「学び合いの充実」や「ICT活用」など、目指す方向へ向かって、学校全体が着実に進んでいる。チーム力も感じた。低学年からのタブレット活用は凄い。
- 1年：聴く力(目力)・話す声の大きさがすばらしい。タブレットの使い方にも慣れている。これが、スタートだと考えれば、発達段階に応じてどう育てていくのか、学校全体で共有したい。
- 2年：あきた型の探究型授業を展開していて、キーワードや付箋を使うなど工夫して、いい話し合いを仕掛けている。子どもは、話し合いも活用できていた。よく考えた上で発表できれば、さらによい。
- 3年：先生の板書が構造化されていた。子どもたちに聴く力も育てている。先生の経験に裏打ちされた指導で、子どもたちも安心して学習している。先生も子どもも元気がよくて、よかった。
- 4年：探究型の授業スタイルが確立され、終末の時間(習熟)に力を入れていた。授業の振り返り等を写真に撮り共有する方法は、ぜひ他にも広めてほしい。話す声の大きさに気を付けさせたい。
- 5年：いいリズムやテンポで授業が進められ、子どもたちも学習に集中している。道徳の時間のテーマもきちんと示され、焦点化した話し合いもされていた。話す力など、さらに伸びしろがある。
- 6年：探究の過程が丁寧に示され、子どもたちが理由を付けて考えを話せるのが凄い。ノートやタブレットに自分の考えを書き、線を引く、丸で囲むなど工夫して発表できる6年生である。